

鈴鹿ベイロータリークラブ

例会日 木曜日 18:30～19:30
例会場 鈴鹿サーキットホテル
事務局 〒510-0295 鈴鹿市稲生町7992
鈴鹿サーキットホテル
TEL 059(379)2484 FAX 059(379)2770



人類に
奉仕する
ロータリー



第1223回 例会報告 (2016年7月21日)

ガバナー補佐訪問例会

会長、幹事

■司会 / 大泉博典 SAA ■ロータリーソング / それでこそロータリー

■お客様 D2630 RI 鈴鹿亀山 Gr. AG 青木啓文 様

鈴鹿シテイRC・IM実行委員会委員長 伊藤晃宏 様

■会長挨拶 / 平野泰治 会長

皆様こんばんは。訃報が続きました。永六輔さんに続き、大橋巨泉さんがお亡くなりになりました。先日は天皇陛下が、生前退位の意向を示されたとの報道もありました。一つの時代の区切りを迎え、新たな時代へ向けて大きな変革の時を迎えたことを実感させることとなりました。このような時代だからこそ、我々のロータリアンとしての活動も、職業奉仕の理念こそ、ぶれることなく持ち続けることと同時に、その活動も新たな展開をし、一層の社会貢献を果たしていきたいと思ひます。

青木 AG 様 本日はご指導の程、よろしくお願いいたします。

■幹事報告 / 川岸憲博 幹事

- ・当例会前にクラブ協議会を開催し、青木 AG に本年の活動予定を報告いたしました。
- ・先週、当クラブ特別代表の中道雅様の告別式に参列してまいりました。供花、弔電、香典を供えました。
- ・クラブアッセンブリーにご参加の皆様ご苦労様でした。
- ・来週は特別休会です。
- ・本日、例会終了後、理事役員会を開催致します。

■出席報告

例会日	会員数	出席者	欠席者	出席率
7月21日	12名	12名	0名	100%

2週間前の補正後出席率 12名中 10名 83.33%

■ニコボックス /

- ・青木 AG・・・本年よろしくお願いいたします。

■例会 / ガバナー補佐 訪問例会

伊藤晃宏 IM 実行委員長

8月27日(土)に、鈴鹿平安閣にてIMを開催いたします。

当鈴鹿シテイロータリークラブがホストクラブになりますので、皆様のご参加、ご協力をお願い致します。

青木啓文 鈴鹿・亀山 Gr. AG

国際ロータリー第2630地区2016～2017年度鈴鹿・亀山グループAGの青木啓文です。どうぞ宜しくお願い致します。

AGとしての役割は、劔田廣喜ガバナーを補佐してロータリークラブを支援するとともに、地区委員会の情報をグループに伝達することであり、地区とクラブのつなぎ役として、RI会長・劔田ガバナー・クラブ会長の年次目標が達成できるように、務めさせていただきたいと考えています。

そのためには、オンライン・ツールであるロータリークラブ・セントラルを、各クラブのご協力を得ながら、活用を図ってまいりたいと思います。

また、本年4月に2016年国際ロータリーの規程審議会が開催され、多くの課題が提起されています。グループでの検討を必要とする事項については、会長・幹事会やガバナーとの懇談会などで調整を図ってまいりたいと考えています。

劔田ガバナーの言われる奉仕の理想「思いやりの心、助け合いの心」をもって、ロータリー活動を務めさせていただきますので、皆様のご理解、ご協力、ご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

さて本日はAGとして、今年度のRIテーマと第2630地区活動方針などについて、お話をさせていただきます。



< 1 >2016～17年度RI（国際ロータリー）の会長はジョンF・ジャーム会長です。

そのテーマは「人類に奉仕するロータリー」であります。

これまでロータリーは、

- (1) ロータリー会員は、これまでロータリーを通じて友人と出会い、地域社会とつながり、目的意識を持ち、人びととの絆を育み、キャリアを築き、他では味わえない貴重な経験をしてきました。
- (2) 私たちが集う一番の理由は、最も大切な目標、すなわち「奉仕」のためであり、人類への奉仕はロータリーの礎（いしずえ）であります。
- (3) 人生の最大の目的は人類に奉仕することである。

このため「人類に奉仕するロータリー」の伝統を継承し、奉仕を行っていくと述べられております。そして次のように具体的な2016～17年度ロータリーの目標の優先項目3つを定めています。

【優先項目 1 クラブのサポートと強化】

- 目標 1 最近の退会者及び若い職業人に働きかけて、会員増強を図る。
- 目標 2 会員の積極的な参加とクラブの充実化を図り、会員増強率を向上させる。
- 目標 3 会長賞へのクラブの参加を増やす。
- 目標 4 ロータリー財団に対するロータリーアンの知識、参加、寄付を向上させる。

【優先項目 2 人道的奉仕の重点化と増加】

- 目標 5 永久にポリオを撲滅する。
- 目標 6 年次基金へのクラブ寄付平均、及び財団補助金へDDF（地区財団活動資金）拠出を高める。
- 目標 7 ポリオ撲滅への支援を続けるために、クラブと政府からの寄付を増やす。
- 目標 8 財団の補助金と 6 つの重点分野を通じて、ロータリーの人道的奉仕の質と影響を高める。
- 目標 9 青少年や若きリーダーの支援、及びロータリーの 6 つの重点分野に関連したプログラム活動や活動において持続可能性を高める。

【優先項目 3 公共イメージと認知度の向上】

- 目標 10 ロータリーに対する人びとの認識を高める。
- 目標 11 ロータリーの功績と、「世界でよいこと」をしてきた財団の 100 周年の歴史について広報する。

以上のことであります。これをうけて・・・

< 2 > 第 2630 地区 剣田廣喜ガバナーの地区活動方針テーマは

「最も出席するもの 最も報いられる」であります。そのころは

1. ロータリーの理念は「思いやりの心・助け合いの心』である。
2. 「思いやりの心・助け合いの心」で、クラブを潤していくのが「クラブ奉仕」仕事に従事するのが「職業奉仕」、地域社会、国際社会を潤していくのが「社会奉仕・国際奉仕」青少年に植え付けていく事が「青少年奉仕」である。
3. ロータリー活動は、例会出席から始まる。大切なのは例会出席であり、「最も出席するもの 最も報いられる」が、ロータリーの信条であると云われています。

この地区活動方針を具現化するための地区目標は

1. 地区内クラブの少なくとも 51% が会長賞を受賞する
 2. 地区財団活動資金（DDF）の少なくとも 20% をポリオプラスに寄贈する
 3. 年次基金への寄付を前年度よりも 5% 増やす
 4. 地区全体の会員数を 3% 増やすこと
- ・クラブ目標は会長賞に挑戦しよう！であります
1. 会員の増強と維持
 - ① 会員 50 名以下は 1 名、50 名以上は 2 名の純増
 - ② 会員維持率を上げること
 - ③ 新会員は My Rotary のアカウントを作る

2. 財団への寄付

- ① 536 ドル以上の財団寄付(1917 年の 26 ドル 50 セントを現代の相当額に置き換えたものです)
- ② 各会員が 26 ドル 50 セント以上を寄付
- ③ ロータリー財団 100 周年を記念してポリオプラスに寄付
- ④ 年次基金に会員一人平均 100 ドルを寄付

3. オンライン・ツールの利用

- ① 会員の 50%が **My Rotary** のプロフィールにスキルと関心を入力する
- ② ロータリーショーケースに 1 件のプロジェクトを掲載する

4. 人道的奉仕

- ① グローバル補助金または地区補助金の提唱者となる
- ② 補助金管理セミナーに出席する

5. 新世代

- ③ ローターアクトクラブ
- ④ インターアクトクラブ
- ⑤ ロータリー青少年交換学生

6. 公共イメージ

- ① ロータリークラブ・セントラルを通じて報告することなどが掲げられています。

< 3 > 鈴鹿・亀山グループの計画

- (1) 本年 8 月 27 日 (土) ガバナー公式訪問・I M
- (2) 来年 1 月 28 日 (土) 会員増強セミナー
- (3) おじさん 先生の実施
- (4) T R F 1 00 周年行事として地域活動 (街頭ポリオ募金活動) の実施
- (5) グループ内の会長・幹事会では、クラブ計画の進捗状況の確認などテーマを定めて実施する。
- (6) 国際ロータリー 2016 年規程審議会をうけて、グループ内での検討や調整を会長・幹事会やガバナーとの懇談会などを通じて実施したいと考えています。

長々とお話させていただきましたが、これまで先人から築き上げてこられたロータリー第 2630 地区鈴鹿・亀山グループの活動のより充実を図ってまいりたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

これをもちまして、A Gとしての卓話を終わさせていただきます。「ありがとう」ございました。

